

上野の里

ホタルと灯りの夕べ



5月30日(日)

あかのやき
蛭と上野焼のやわらかな灯りの共演

上野焼ランプシェード切り込み陶芸体験

- ◎ 5月30日(日)に3回(各20人定員)開催
① 13:00~ ② 14:30~ ③ 16:00~
- ◎ 料金は1人1,000円(送料別)
焼成後にお渡します。着払い郵送可。
- ◎ 定員60人(各20人定員)になり次第締切
応募用紙にご記入の上お申込みください。
- ◎ 会場は上野の里ふれあい交流会館 陶芸館
☎ 上野焼協同組合 ☎ 0947-28-5864

町長日誌

▼3月14日に行われた町長選挙から、早くも1月半が経過した。さすがに、投票日の翌日は高揚した気持を引き摺っての出勤となったが、町長室に揚

ている「初心不可忘」の額がいつにもまして大きく見えたものだ。また、2期目のスタートとなった4月2日には、役場玄関前で職員の出迎えを受け、改めて、町政の舵取りを負託された重みを実感させられた。と同時に、いただいた花束を手に、職員がつくる人垣を通り抜けて3階までの階段を上りながら、過ぎ去った4年間のことを思い出していた▼初代町長に就任したものの、正直なところ、何から手をつけていいのか少し迷いながらの船出であったと記憶している。もちろん、時は流れを止めてくれる筈もなく、動き出さないことには、町民のみなさんへの約束も果たせない。そんな思いにかられての仕事始めだった。そうした中で、まず行ったのが、まちづくりの方針や方向性を職員に理解してもらうために、13班に分けての学習会であった。そして、各地域に向いて、町民のみなさん達と意思の疎通をはからせていただいたタウンミーティング。そのどれもが、以後の町政推進を支える基盤になっていると断言してもいいのではないかと思う▼いずれにしても、まちづくりを進めていく上で基本となることをしっかりと押さえ、着実に実行に移していけば、自ずと結果はついてくるものと理解している。2期目の4年間も、「去私奉公」を自らに言い聞かせつつ、全力で走り抜ける覚悟である。

浦田 弘二